

函館インターナショナル・ハウス(HIH)構想

日本のための「北の国際交流ゲートウェイ」

政治家・行政関係者向け 簡易提案書

構想名	函館インターナショナル・ハウス(HIH)
目的	国際交流、文化外交、若者育成、学術・芸術交流、地域活性化を一体的に推進する公共性の高い拠点づくり
候補地の考え方	函館市西部地区を中心に、西中学校・西小学校関連施設等を含む既存公共施設・市有資産の活用可能性を検討(最終候補地は市の方針、現況、安全性、地域ニーズに基づき協議)
設置・運営形態	非営利法人、公益法人、行政主導、官民連携、または民間公益型など、公共目的に最も適した形を検討
発信メッセージ	函館から世界へ。日本の新しい「北の国際交流ゲートウェイ」をつくる

1. 概要

函館インターナショナル・ハウス(HIH)は、北海道函館市において、国際交流、文化対話、学術連携、若者育成、芸術活動、地域活性化を推進する公共性の高い拠点として提案する構想です。市民、学生、研究者、芸術家、文化関係者、国内外からの来訪者が出会い、学び、創造し、交流する開かれた場を目指します。

本構想は、特定の民間企業モデルに限定するものではありません。非営利法人、公益法人、行政主導、官民連携、または民間の専門性を活かした公共目的型モデルなど、函館市と地域社会にとって最も望ましい形を検討できます。重要なのは所有形態ではなく、公共的使命と長期的な信頼性です。

2. なぜ函館か

函館は、日本の近代史においてきわめて国際性の高い都市です。開港都市として世界とつながり、港、坂、教会、領事館、五稜郭、外国人墓地、北方文化など、国際交流の記憶を街そのものが持っています。

HIHは、外から無理に持ち込む構想ではありません。函館が本来持っている「開かれた港町」「北の玄関口」「文化が交わる場所」という個性を、現代の国際交流、教育、文化発信、地域活性化へつなげるものです。

3. 日本にとっての意義

HIHは函館だけの地域プロジェクトではなく、日本全体にとって意味のある構想です。地方創生、観光の高付加価値化、文化外交、若者育成、国際理解、多文化共生を一つの拠点で結び、日本の新しい地域発信モデルを示すことができます。

国際交流や文化発信は東京だけの役割ではありません。歴史と個性を持つ地方都市からこそ、日本の深み、成熟、創造性を世界に伝えることができます。函館は、その象徴的な舞台になり得ます。

4. 候補地・施設活用の考え方

候補地については、函館市西部地区を中心に、西中学校・西小学校関連施設等を含む既存公共施設や市有資産の活用可能性を、慎重に検討することが考えられます。現時点では、特定施設の利用を前提として決定するのではなく、市の方針、施設の現況、耐震性、改修費、交通アクセス、地域住民の意見、教育・文化政策との整合性を踏まえて協議することが重要です。

目的は単なる建物の再利用ではありません。既存の公共資産を、教育、文化、国際交流、地域参加を生み出す「生きた公共空間」へ転換することです。

5. HIHの主な機能

機能	内容
国際交流	講演会、公開対話、姉妹都市交流、国際フォーラムを通じ、函館とアジア、北米、欧州、世界各地を結ぶ。
文化・芸術	展覧会、アーティスト・イン・レジデンス、日本美術、工芸、アイヌ文化、北方文化、地域文化に関する企画を実施する。

若者育成・教育	高校生、大学生、若手リーダー、留学生、研究者が参加できる学習・交流プログラムを行う。
学術・政策対話	北日本、海洋文化、地域活性化、観光、文化外交、多文化共生などをテーマに研究会や対話の場を設ける。
滞在機能	研究者、芸術家、講演者、学生、短期滞在者のための小規模なレジデンス機能を設け、交流事業と持続的運営を支える。

6. 期待される効果

- ・函館を日本有数の歴史ある国際都市として再発信できる。
- ・文化、観光、教育、地域コミュニティを結ぶ新しい公共拠点になる。
- ・若者の国際感覚、探究心、リーダーシップを育てる機会を創出する。
- ・既存公共施設や市有資産の有効活用につながる。
- ・研究者、芸術家、学生、文化関係者など質の高い交流人口を呼び込む。
- ・東京一極集中ではない、日本の新しい文化外交・地域発信モデルを示す。
- ・函館の歴史を保存するだけでなく、未来の公共価値へ転換できる。

7. 設置・運営主体の選択肢

本構想の初期段階では、設置・運営主体を一つに限定せず、柔軟に検討することが望めます。想定される形は以下の通りです。

- ・文化、教育、国際交流を目的とする非営利法人または公益法人。
- ・函館市、北海道、国、関係機関が支援する行政主導型または公共支援型。
- ・行政、大学、文化機関、民間事業者、地域団体が連携する官民連携型。
- ・民間の運営力を活かしながら、明確な公共的使命と諮問体制を持つ民間公益型。

最終的な形は、実現可能性調査、関係者協議、財源、施設条件、地域ニーズを踏まえて決定します。最初から一つの箱に押し込めないことが大切です。公共性と実行力を両立する形を探るべきです。

8. 政治家・行政関係者に期待する役割

- 1) HIHを、函館発・日本発の公共性ある国際交流ビジョンとして位置づける。
- 2) 函館市、北海道、教育機関、文化機関、経済界、地域住民による検討の場を設ける。
- 3) 西中学校・西小学校関連施設等を含む候補施設の活用可能性について、制度面・安全面・財政面から調査する。
- 4) 小規模な公開講座、展覧会、若者フォーラム、国際対話イベントなどの試行事業を実施する。
- 5) 最終的な基本計画、運営体制、財源計画、段階的实施スケジュールを策定する。

9. 政治家向けPRメッセージ

HIHは、政治家や行政関係者にとって発信しやすい前向きなビジョンです。文化、教育、観光、国際交流、地域活性化を一つの物語として語ることができます。

PRメッセージ例

函館インターナショナル・ハウスは、函館から日本の未来を世界へ発信する新しい公共ビジョンです。
地域活性化、若者育成、文化、観光、国際交流をつなぐ、北の国際交流拠点を目指します。
函館から、開かれた日本、対話する日本、挑戦する日本を世界に示します。

10. 短いスピーチ原稿

「函館インターナショナル・ハウスは、函館の開港都市としての歴史を、現代の文化、教育、若者育成、国際交流へつなげる新しい公共構想です。函館から日本の北の玄関口として、世界と対話し、学び合い、未来をつくる拠点を目指します。」

11. 結び

函館は、歴史的に世界とつながってきた都市です。HIHは、その歴史に新しい役割を与える構想です。学び、創造、交流、対話の拠点をすることで、函館は地域活性化だけでなく、日本の国際的な存在感にも貢献できます。

HIHは、函館に根ざし、日本に役立ち、世界に開かれた実践的な構想です。今こそ、函館の歴史を未来の公共価値へ変えていく時です。

提案者

Kumiko Iwasawa

Iwasawa Oriental Art

75 University Avenue, P.O. Box 1660, Los Gatos, CA 95031-6071

Tel: 408-395-2339 | Email: iwasawaart@comcast.net

Website: <http://www.japaneseartandantiques.com>